

## 1. 第11回定期審査終了

8月5日から6日の2日間にわたって、新しい審査登録機関であるASRによる11回目の定期審査が実施され、事務所内各部署、第一工場、第二工場、阿久和工場の全社で受審しました。初日は審査員1名、技術専門家1名が来社され、書類審査、現場確認には十分な時間配分を割かれて環境マネジメントシステム登録維持管理遵守事項に沿った運用がされているか、環境パフォーマンスの継続的な改善がされているか等、詳細なチェックとヒアリングによる確認を受けました。

その結果、観察事項4件の指摘はありましたが不適合はなく全社的に活動が定着し、監理も問題なく手順どおり実施されており、ISO14001環境マネジメントシステムに適合しているとの評価を受けました。事務所、現場で対応された方をはじめ、皆様、お疲れさまでした。お陰様で、無事に審査を終えることができました。審査へのご協力に感謝申し上げますとともに、今後も環境マネジメントシステムの適切な維持管理に努めていきたいと思っておりますので、これからも環境配慮の取組みにご協力いただけますよう、併せてお願いいたします。



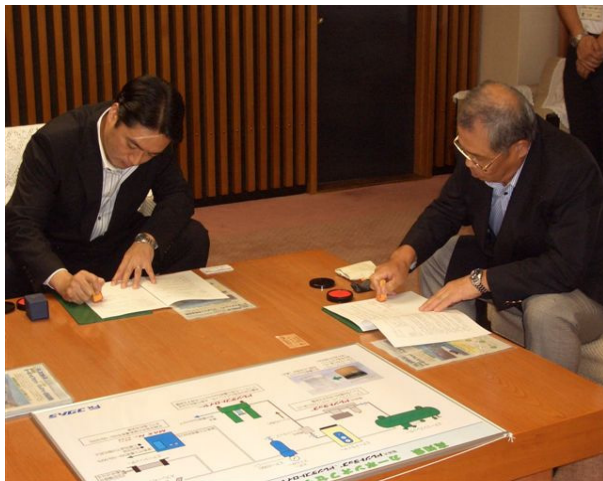
## 2. 高知県カーボンオフセット・クレジットを当社製品へ導入

当社は8月30日、高知県と二酸化炭素の排出量を相殺するカーボンオフセット契約を結び、高知県で削減された二酸化炭素(CO2)50トン分を50万5千円で購入しました。この費用は「高知県木質資源エネルギー活用プロジェクト」のクレジット購入に当てられます。これにより、高知県の森林整備の推進とCO2削減に寄与し地球温暖化防止に貢献することになります。この購入したCO2とドレンDESTROYヤー、電磁強力ドレントラップ、窒素ガス発生装置などの製造過程で排出されるCO2と相殺し、商品にカーボンオフセットを証明するシール及び額付き証書が発行されて販売します(ドレントラップは証明シールのみ)。高知県が発行するオフセット・クレジットが機械装置に導入されるのは初めてで、環境意識の高い企業への販売が期待されます。

(「チャレンジ25」のChallenge5 アクション20)参照)

カーボンオフセットとは環境省のオフセット・クレジット制度に基づく取引で高知県は認証第1号で、新潟県、北海道の足寄町、下川町、三重県の大台町などが認証を受けています。

福原廣社長と尾崎正直高知県知事



### 3. 「チーム・マイナス6%」から「チャレンジ25」へ

「チーム・マイナス6%」については2008年3月発行のISOニュースで紹介しました。内容は、2005年2月16日、京都議定書が発効し、日本は2008年から2012年までに、二酸化炭素などの温室効果ガスの総排出量を1990年に比べ6%削減することが義務づけられ、この目標を達成するため、大規模な国民的運動として「チーム・マイナス6%」が立ち上ったということです。

当社は、2008年2月に「チーム・マイナス6%」に参加し、ISO14001と相俟って活動を続けてきました。

そして、2009年9月、当時の鳩山内閣総理大臣がニューヨークの国連気候変動サミットにおいて、我が国の目標として、温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比で25%削減することを表明しました。これにより、これまでの地球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」は発展的解消をし「チャレンジ25」として2010年1月14日から新たに展開することになったわけです。

この「チャレンジ25」は、オフィスや家庭などにおいて実践できるCO2削減に向けた具体的な行動を以下のような「6つのチャレンジ」として提案し、さらにその中で「25のアクション」で具体的な実行方策を示しています。当社の高知県カーボンオフセット・クレジットの対象商品はChallenge 5のアクション20に該当します。私たちが新しく買換える場合、ぜひ環境配慮型商品を選びたいですね。もっとも値段で選んで買ったらエコ製品だったというものであれば言うことなし。

## Challenge 1 エコな生活スタイルを選択しよう

- 1) 夏は冷房の温度を28℃に、冬は暖房の温度を20℃に設定しよう
- 2) 照明やOA機器等のスイッチオフを心がけよう
- 3) 出かける際はバスや電車、自転車など環境に優しい交通機関を利用しよう
- 4) 蛇口をこまめに閉めるなど、節水を心がけよう
- 5) 環境家計簿、リアルタイムにCO2排出量を見せる省エネナビなどを使って、CO2排出量に見える化をしよう
- 6) シャワーを使う時間を短くしよう
- 7) エコドライブ（ふんわりアクセル、アイドリングストップ）を実践しよう
- 8) マイバッグ、マイボトルを持ち歩こう
- 9) エコクッキング（食材を全部使い切る、中火を上手に使う）を実践しよう

## Challenge 2 省エネ製品をし選択しよう

- 10) 古い冷蔵庫を省エネタイプに買い替えよう
- 11) 家庭用燃料電池や高効率給湯器（CO2冷媒ヒートポンプ型等）を導入しよう
- 12) 古いエアコンを省エネタイプに買い替えよう
- 13) 白熱電球を電球型蛍光灯やLED照明へ買い替えよう
- 14) 古いテレビを省エネテレビに買い替えよう
- 15) ハイブリッド自動車や電気自動車に買い替えよう

## Challenge 3 自然を利用したエネルギーを選択しよう

- 16) 太陽光発電を新しく設置しよう
- 17) 太陽熱温水器を新しく設置しよう

## Challenge 4 ビル・住宅のエコ化を選択しよう

- 18) 最新の省エネ基準を満たす断熱材やエコガラスを取り入れよう。
- 19) コージェネレーション設備などの最新技術を取り入れよう
- 16) 太陽光発電を新しく設置しよう

## Challenge 5 CO2削減につながる取組を応援しよう

- 20) カーボン・オフセット商品や木材利用製品を選択しよう

- 2 1) 地産地消の商品を選択しよう
- 2 2) カーボン・フットプリントやフードマイレージの小さい食品を選択しよう

Challenge 6 地域で取組む地球温暖化防止活動に参加しよう

- 2 3) カーシェアリングやレンタサイクルを積極的に利用しよう
- 2 4) 地域の環境イベントに積極的に参加しよう
- 2 5) パーク&ライドで公共交通機関を利用しよう

2010.9.28日時点の登録は

個人チャレンジャー 390,918人  
 企業・団体チャレンジャー 13,840団体 です。

皆さんもぜひ「チャレンジ25」へ登録し地球温暖化防止活動に参加して下さい。



#### 4. 余 話

今年は記録的な熱暑の夏でしたね。東京都心の真夏日（最高気温が30℃以上）観測史上最多の71日、熱帯夜の日数も55日で94年の47日を大きく上回り、いつも都内で最高気温を記録する練馬の猛暑日は37日を更新し過去最多だった95年の27日より10日も多くなったと報道されていました。今夏は35度以上の猛暑日に気を取られ、真夏日の30℃そこそこだと「今日は過ごしやすい」と思った人も多かったのではないのでしょうか。また「スーパー猛暑日」というウエー一用語をテレビや新聞などの報道で目や耳にしました。これは最高気温が37℃を超える日のことで、ちなみに、気温37℃は熱中症の危険性が最大レベルとのことだそうです。

ただし、この「スーパー猛暑日」は気象庁の公式用語ではありません。日本の最高気温は熊谷の40.9℃ですが、この暑さを表現する公式気象用語が必要となる日も近いのでは……。猛暑より上のランクは酷暑、熱暑でしょうか？。

いずれにしても、暑さ、寒さも彼岸までといわれますが、まさにその通り、秋分の日には秋雨前線が南下して一気に空気が入れ替わりました。急激な気温の変化で体調を崩さないよう注意して下さい。

ゝ` (~ㄏ~*)、ゝ` ... (汗)	(;ㄏ`)
い(ㄏ` u) アツィー	o(----- _----- iA 汗たら～
(`_` i) タラー	(A; `・ω・) フキフキ
(~Q~;) あっち～	~(=^... ^A フキフキ・・・
○ = (≧Σ≦) ハックシ!	(>.<) クシュッ!
ε -(>o<) ハックション!!	